

4月定植・不織布べたがけによる春まきキャベツ有機栽培

福島県農業総合センター 浜地域研究所

1 部門名

野菜 - キャベツ-病害虫防除、作型・栽培型

2 担当者

水野由美子・常盤秀夫

3 要旨

春まきキャベツ有機栽培の試験として、4月定植で不織布べたがけ栽培を行ったところ、慣行栽培よりも有機肥料、不織布、マルチ等のコストがかかるものの、慣行栽培並の収量が得られた。

- (1) 有機栽培区の虫害による廃棄割合は、不織布べたがけ(商品名「パオパオ90」:光線透過率90%)をすることにより0%であった。
- (2) 有機栽培区では、軟腐病、黒腐病等の病害の発生も見られなかった。これは、4月定植により収穫時期が早まったこと、マルチ栽培で泥の跳ね返りや中耕による損傷がなかったことが発病抑制につながったと考えられた。
- (3) 品質は慣行栽培と同等で、慣行栽培並の商品化収量が得られた。
- (4) 定植時期は遅霜の危険性の少ない時期とする(相双地方4/10~:平均気温10 以上)。
- (5) 不織布をべたがけする際は、地面の隙間から害虫が侵入しないようにべたがけの裾をピン等でしっかりと押さえ、不織布は、あらかじめキャベツが大きくなる分のゆとりをもたせる(ベット幅1m(2条植え)に不織布幅2.4m程度)。
- (6) 苗に害虫の卵や幼虫がついていないことを確認し、定植後は直ちに被覆する。

表1 春まきキャベツ有機実証区および慣行栽培区の収穫日、収量および障害株率

区名	収穫 始期	収穫 盛期	収穫 終期	全収穫量 (kg/a)	商品化 収量 (kg/a)	平均 球重 (kg)	平均 球径 (cm)	平均 球高 (cm)	障害株率(%)			
									正常	生理 障害	病害	虫害
有機実証区	6/28	7/3	7/13	371.4	371.4	1.32	18.3	10.4	100	0	0	0
慣行栽培区	6/30	7/7	7/25	441.7	327.2	1.28	18.2	10.6	74.1	0	18.5	7.4

*収穫期は、始期が10%、盛期が50%、終期が90%に達した日。

*病害: 黒腐病および軟腐病、虫害: アオムシおよびヨトウムシによる食害、生理障害: 縁腐症

*有機実証区: 不織布べたがけ、無防除、全量基肥、黒マルチ使用、320株/a

*慣行栽培区: 殺虫剤4回使用、追肥・中耕培土1回、マルチなし、350株/a

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2008)